

はじめに

鎌倉市図書館では、年度ごとに図書館で実施した事業を「鎌倉市の図書館」にまとめていますが、この度、令和元年度の「鎌倉市の図書館」を作成しましたので、ご覧ください。

令和元年度、鎌倉市の図書館では、湘南ベルマーレとのコラボ事業のキックオフイベント、鎌倉市が2020東京オリンピック・パラリンピックのセーリング競技のフランスのホストタウンであることから、フランス語のおはなし会、また市政80周年記念事業「知られざる鎌倉」の一環として万葉集研究ゆかりの地であることをアピールできる「鎌倉仙覚文庫」の設立等の事業を実施してまいりました。

また、5年ぶりに図書館システムを更新し、ホームページのリニューアルも実施しました。「こどものページ」「ティーンズのページ」も新しくなり、「近代史資料室」のサイトでは、懐かしい鎌倉を感じることでできる古写真を見ることができるようにしました。是非、サイトを開いてみてください。

そして、平成29年度・30年度に実施した利用者のみなさんへのアンケート結果等をふまえて、令和2年4月1日から、休館日や開館時間を変更しています。より多くのみなさんに鎌倉市の図書館を利用していただきたいと思います。

令和2年度に入り、新型コロナウイルス感染防止のための休館が続きましたが、6月9日から鎌倉市図書館を再開することができました。7月1日からは館内での読書もできるようになりました。今後は、状況等留意しながら、最終的にイベント等に安心して参加していただけることをめざしていきます。それまでは、ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

図書館は、本や資料を収集して貸し出しをしています。本と人がつながり、人と人とがつながり、人が生活をしていくために大切な施設です。災害がおこったとき、図書館が地域に果たしている役割の大きさを痛感いたします。

この「鎌倉市の図書館」が、図書館活動を評価し、図書館をより使いこなしていただくための資料として多くの方にご活用いただければ幸いです。そして、図書館に足を運んでいただく一助となることを願っております。みなさまからのご意見・ご要望をいただき、より利用しやすい図書館を目指していきたいと思っております。

令和2年（2020年）10月
中央図書館長 朴澤徹範



旧 鎌倉市図書館（昭和25年頃）



現在の鎌倉市中央図書館